

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・売上が2ケタの伸びとなっており、今後もそのまま推移する。
	やや良くなる	スーパー（企画担当）	・改装店舗の客は旧店の商圏よりも広がっており、また評判も上々であり、良くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・地場産品の寿甘藷の出荷が始まっているが、現在の価格からすると、昨年より良いと予想される。また、年金受給者、サラリーマンにおいても、高いものが売れ始めている。
		一般レストラン（経営者）	・これから夏にかけてイベント関係のケータリングが増えてくる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・催事等の予約が前年を上回るペースで入っているが、宿泊予約は相変わらず先行き不透明である。
		テーマパーク（職員）	・アミューズメント施設は7～9月に季節営業を予定しており、夏休みのファミリー客が増える。
		設計事務所（所長）	・今まで不景気でずっと我慢してきた人たちの中でも必要に迫られてきた人が、「設計をお願いしたい」とか、「建物を建てたい」と言うようになっており、仕事が増えていく。
変わらない	商店街（代表者）	・高額品を求める客の数が回復していて期待しているが、秋には郊外大型店の出店も控えているので、横ばいになる。	
	商店街（代表者）	・単価が非常に低いことと、SARSの流行で人の動きが悪い状態が長引く。	
	商店街（組合職員）	・医療費を含め、増税による値上げなど明るい材料がなく、さらに消費が落ち込む。	
	百貨店（売場主任）	・複合商業施設がオープンし、街ににぎわいが出てきたが、見学に来るだけで購買は少ない。	
	百貨店（営業担当）	・欲しい商品は金額に関係なく購入するような客層の購買が慎重になっている。全店DM催事、店外ホテル催事においても同様である。	
	百貨店（売場担当）	・客が慎重な買物をするようになってきている。入店客数と購買客数の比率の乖離が進んでいるのも懸念される。	
	スーパー（経営者）	・給与やボーナス等のダウンといった先行きの不透明感があり、買い渋りがある。	
	スーパー（店長）	・来客数は少し回復しているが、購買量と平均単価がかなり落ちている。客は処分期にあわせて買っているため、立ち上がりの商品が売れなくなっている。セール期間中に買って、他の期間は控える傾向が出ている。	
	コンビニ（エリア担当）	・常連客から給料のベースアップも定期昇給もないと聞く。逆に、増税等で支出が増えれば、売上が伸びる要素はない。	
	コンビニ（店長）	・ゴールデンウィークは期待できない。SARSの影響で国内旅行が上向きになることを期待している。	
	衣料品専門店（経営者）	・イラクの戦後処理、SARSの流行等、国内外とも情勢は混迷しているが、このまま落ち着く感がある。	
	衣料品専門店（店員）	・セールの時期ともなれば、利益を削ってでも販売量を動かすことでしか生き残る道はない。	
	家電量販店（店員）	・パソコン業界では5月末から6月初めにかけて新製品が発売されるが、大きな変化はなく、購買意欲をそそくとは思えない。買い替え需要は多少あっても、現在と変わらない。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・イラク戦争の終結と原油価格の下落があり、元売りからの卸価格が下がると見込まれる。客のカーケア商品の購入姿勢が慎重なことに加え、定期昇給廃止等の影響も懸念される。	
	その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	・戦争の後遺症、SARS、政局の不安定等で、良い材料がない。	
	一般レストラン（スタッフ）	・客の話では、保険料の負担が増える、年金の支給率が下がるといったことで、買い控えはなお続く。SARSの影響で海外旅行が控えめということで、ゴールデンウィークは期待している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・SARSや株価低迷など景気悪化要因が多く、個人消費は慎重にならざるを得ない。	
	タクシー運転手	・大きいイベントもないし、旅行客もバスなどの移動がほとんどで、人の動きは変わらない。	
	通信会社（業務担当）	・5月は、3～4月の反動と新機種待ちの買い控えが一時的に発生し、新規契約だけでなく、機種変更も大きく落ち込むことが予想される。その後は新商品の発売に助けられて、何とか現状を維持していく。	

		パチンコ店（店員）	・SARSをはじめ、これからの日本経済に大きな不安を感じる。
		競輪場（職員）	・前年度と比較すれば10～15%落ち込んでいるものの、そこが底ではないかと認識している。客単価が若干落ち込んでいるのが懸念材料である。
		住宅販売会社（従業員）	・年度替わりで新しい物件が出てくるため、購買層の集客が見込めるが、客の反応は良くない。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン特別減税の関係で動きが出てくると考えていたが、思った以上に動きが鈍い。
		住宅販売会社（従業員）	・イラク・北朝鮮情勢、株価の低迷、SARS等、経済へのマイナス要因が見当たらず、景気を押し上げる有効な材料が見当たらない。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・商店街から自転車で10分くらいのところに大型ショッピングセンターができ、少しは客が帰ってきたものの、厳しい。
		商店街（代表者）	・SARSの影響で、物流への影響が非常に大きい。
		百貨店（売場担当）	・近所に新たな大型商業施設ができ、今後ますます競争が激化する。
		スーパー（店長）	・大手スーパーが近いうちにできる予定なので、今後非常に厳しくなる。
		スーパー（店長）	・発泡酒の増税や年金の負担増など、毎日の生活の中に負担がのしかかる。
		スーパー（総務担当）	・昨年並みで推移していた食品が、徐々に前年割れをするようになってきた。
		スーパー（経理担当）	・特売での購入比率が高まったり、競合店を回る客の割合が増え、客単価や販売量が減る。
		コンビニ（経営者）	・当店は2、3年前は建設関係の客が多かったが、今は来なくなかった。
		コンビニ（販売促進担当）	・酒、たばこが増税される中で、前年をキープするのにどこも必死で、特売の回数も多くなり、厳しくなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・イラク戦争、北朝鮮情勢、SARSなどの不安定要素があって、客の様子も落ち着かない。
		旅行代理店（業務担当）	・SARSの不安感が払拭されないと、海外旅行の需要の回復は大幅に遅れる。
		タクシー運転手	・夏のボーナスシーズンになるが、ボーナスは減るし、節約ムードで期待できない。
		タクシー会社（営業担当）	・SARSの影響やイラクの戦後処理がどうなるか、まだわからない。
		通信会社（企画担当）	・有望な新サービスが打ち出せないまま、従来サービスの値下げ競争が過熱して、単価が下がり、売上が落ち込む。
	悪くなる		ゴルフ場（従業員）
		住宅販売会社（従業員）	・ゴールデンウィークに向けてキャンペーンをやっているが、客の反応があまり良くない。まだまだ厳しい状況が続く。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・5月は母の日があるので良いが、その後の見通しが厳しい。
		百貨店（売場主任）	・保険料の実質負担増や春闘の賃下げ問題で、客の消費意欲が減退している。
		百貨店（営業担当）	・戦争、SARS、株安と先行きに不安が多く、明るい展望を描けない。
		乗用車販売店（経営者）	・リストラに加え、新卒者も就職がなく、新卒需要が起こっていない。買換え需要も手控えられている。
		都市型ホテル（総支配人）	・SARSの影響で旅行客が少なくなる。
企業動向関連	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・九州新幹線に伴う事業を新しく始め、仕事量が増えてくるので楽しみにしている。製造部門でも他社の半分以上のコストを実現できるため、収益性と低価格を続行できる。
	やや良くなる	建設業（総務担当）	・現在の受注量はオーバー気味なほど確保されているが、8月以降は先が見えない。
		金融業（調査担当）	・SARSの影響は懸念されるが、国内産業での需要充足という観点からすれば、神風のなところもある。また地場企業の前期決算からみても、上向きである。

	経営コンサルタント	・イラク戦争も終わり、SARSもおそらく5月いっぱい で終息に向かうのではないが、悪いことが起きなければ、明 るい兆しも見えてくる。	
変わらない	農林水産業（従業者）	・国産食肉、牛肉の需要がある程度あって、今と同様に数量 が足りない状況が続く。	
	鉄鋼業（総務担当）	・SARS問題や株価の低迷が懸念される。	
	電気機械器具製造業 （経営者）	・まだまだ不透明感があるが、全体的には変わらない。精密 機械関連、液晶関連も現状で推移する。	
	建設業（従業者）	・工事の絶対量不足から過当競争がしばらく続く。	
	輸送業（総務担当）	・冬物衣料品の備蓄が始まったほか、園芸資材が良く動い た。例年通りで、荷動きとしては非常に安定しており、今後 もしばらくは変わらない。	
	通信業（経理担当）	・イラク戦争も早期解決で、景気が良くなるも期待してい たが、SARSが出てきて、依然不透明である。	
	広告代理店（従業者）	・受注量からみて4月は、複合商業施設のオ・プンに伴っ て件数・枚数が増加したが、その他の業種は低調な状態が続 いている。また、チラシサイズが小型化する傾向が続いてお り、広告にかけの予算は減っていく。	
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・7月以降、園芸作物（ハウス）は休止状態となるため。	
	食料品製造業（専務）	・SARSで外国に行くのを控えるとよく聞く。今はなかな か物を買わない、動かないという状況になっている。	
	家具製造業（従業者）	・イラク戦争、SARSもあって、良くない。ホテル業者も SARSで神経質になっており、我々の業界もその影響が少 なからずある。	
	金属製品製造業（企画 担当）	・SARSの影響が当社の中国の合弁会社にも出てくるし、 これが長引けば、日本経済にマイナスの影響が出てくる。	
	一般機械器具製造業 （経営者）	・自動車業界は利益を出しているにもかかわらず、中国製品 と比較しての値引き要請が強い。仕事をしても利益も出ない ような価格では、景気回復などあり得ない。	
	輸送用機械器具製造業 （営業担当）	・海外生産への移行と季節変動の影響で、この2、3か月は とくに悪い。	
	不動産業（従業者）	・オフィスビルの賃料下落傾向に歯止めがかからない状況が 続いている。また、土地価格についても、需給バランスが改 善する様子は見られず、下落傾向に歯止めがかからない。	
悪くなる	窯業・土石製品製造業 （経営者）	・例年、陶磁器業界は6～8月にかけて受注が落ち込むが、 今年は需要期である3、4月が悪かったので、ますます悪く なるのではないかと心配している。	
	経営コンサルタント	・酒税法改正が行われたが、小売店がその対策を知らない、 どうしようもない状況に陥っており、酒販業界はますます悪 くなる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
変わらない	人材派遣会社（社員）	・仕事を探している人は派遣でも登録の数が増えているが、 それに対して、案内できる仕事が変わらない。一度仕事につ いた人は、なかなか次の仕事に移らない。派遣のニーズもそ れほど増えていない。	
	人材派遣会社（社員）	・最近商談の目新しさが全く感じられず、また昇給に関して も春闘は非常に厳しく、雇用に関して明るい材料がない。	
	求人情報誌製作会社 （総務担当）	・自動車関連企業で設備投資の動きがあることが明るい兆し であるが、どの程度雇用につながるか、現時点では見えな い。良くなるどころ、悪くなるどころ、相殺して横ばいであ る。	
	職業安定所（職員）	・大きな解雇や採用の情報がないので、今のままの状態が続 く。	
	民間職業紹介機関（職 員）	・高齢者の登録が続くも、企業は若年層の採用を重視して おり、転職が決定するのはごく一部で、厳しい時期が続く。	
	職業安定所（職員）	・新規求人倍率が低下傾向にある。また、製造業で30名規模 のリストラが、4、5月で2件予定されている。	
やや悪くなる	民間職業紹介機関（支 店長）	・3月期決算状況が、ごく一部の業種・企業を除いて好転し たとは思えないため、人材のアウトソーシングも、回復する 材料は極めて少ない。したがって、少ないパイを奪い合う状 況はますます熾烈になり、仮に需要増となっても、採算面 ではかなり問題が残る。強いてプラス材料を挙げれば、製造業 派遣の解禁（法案成立・施行後）は、人材ビジネスの市場拡 大となるが、既存業者との棲み分けが課題となる。	

	悪くなる	求人情報誌製作会社 (編集者)	・当社の営業成績も、今年に入ってから前年割れをしている。経営努力の不足もあるだろうが、やはり景気に力がないと積極的な求人につながらない。とくにこの4月は昨年と比べると大幅にダウンしており、しばらくはこの傾向が続く。
--	------	--------------------	---